

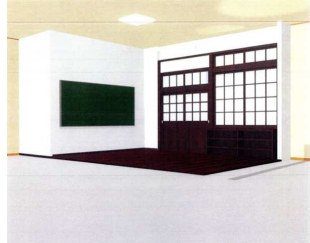
廃校校舎現場視察



廃材調達



完成イメージ



【学舎検討会】



安全祈願祭

支配人 カマ入れの儀

事務局次長 鍬入れの儀

玉串奉奠の儀

工事準備完了

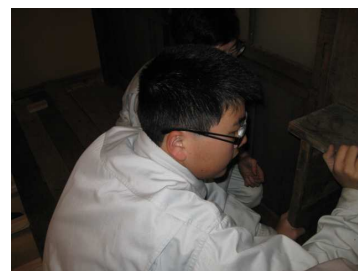


工事当日、プロ建築士の
挨拶及び建築指導

昔の建築工法の説明

柱の取り付けと
平行バランスの調整

建具の取り付け
設計どおりに取り付け



途中、地元メディアの取材
(テレビ局・新聞社・建築季刊誌)

出来上りを喜ぶ生徒

完成の記念撮影

退館式で支配人挨拶



【企画の流れ】（支配人：荒田 繁 64）

当ホテルも築20年が経ち、就任してからインパクトのあるロビーにしたいとの構想はありました。そこで、昨年春に岡山のホテルで古机や椅子などで、演出した同窓会誘致のためのディスプレイを見たのが発端となり、「ただ単に、机や椅子などを並べるだけでは面白くない。本格的に学校教室を再現しようと発案しました。」まずは、長崎工業高校のインテリア科の先生に、長崎産の間伐材を使用した昔風机や椅子を作ってもらい、同時に地元自治会方々にどのような教室だったかをリサーチしながら、半年がかりで、廃材などを収集することができました。つづいて、こだわったのは単に建築のプロが作り上げるのではなく、教育の一環として建築科の生徒に協力を依頼いたしました。

世代を越えて「お父上や御祖父が通った頃の教室」を現代の生徒が作り上げるという計画は、非常に「新しい」取り組みで全国にも例をみない活動でしょう。

完成イメージを昭和30年代の教室と設定し、現役の学校関係者に取材をしながら当時の建築工法を用いた床板は「ギョッコギョッコ」となるようにお願いしました。

また、教室再現だけでなく「懐かしの給食」をイメージした検討をしているうちに、現代の給食のすばらしさが見えてきました。そこで、県学校給食会や県学校栄養士会との協力で、給食の変遷や食育といった内容を織り交ぜた、「給食」も今後、提案して参ります。往年を知る大人だけでなく、現代の教室との違いを子供たちにも実際に体感してもらいたい。また給食の進化も広めていきたいと願っております。